

■アンケート概要

アンケート概要	映画「ラーゲリより愛を込めて」を見たことがある方へのアンケート
調査期間	2025年08月15日
回答数	60人(10代～40代)
アンケート調査元	インターネット調査

■アンケート項目

1. 年齢を教えてください
2. 性別を教えてください
3. 映画「ラーゲリより愛を込めて」の評価を星1～5で教えて下さい。
4. 映画「ラーゲリより愛を込めて」を実際に見た感想を教えてください。

1. 年齢を教えてください。	2. 性別を教えてください。	3. 映画「ラーゲリより愛を込めて」の評価を1?5で教えてください。	4. 映画「ラーゲリより愛を込めて」を実際に見た感想(ネタバレを含む)を教えてください。
50代	女性		5 感動して大泣きました。俳優陣が素晴らしい!
60代	女性		5 ラーゲリより愛を込めて を見た時は、胸が切なくなるようでした。戦時中は、もちろんのことですが、現代においても今の一瞬 一瞬を大切に心に刻み込みたいと思いました。
40代	男性		5 強制収容所が題材の映画で、戦争映画に興味があったので、公開すぐに映画館で観ました。 家族愛、信じる気持ち、自分よりも仲間を優先する事など、グッとくる内容が多くあります。 特に最後の仲間達が、主人公が家族に宛てた手紙を暗記して、北川景子演じる主人公の奥さんに伝えにいくシーンは涙なくして見ることはできません。北川景子が叫びながら泣くシーンは、号泣必至です。また観たい映画になりました。
20代	女性		4 最後に北川景子さんのところに、遺書を覚えて伝えにくところが涙なしには見れなかった。戦争というものはしてはいけないものだということを強く感じた。
30代	女性		4 以前に、特攻隊のお話は見たことがあったけれど、捕虜となった人たちも、過酷な環境でありながらも、家族の元へ絶対に帰るんだと戦っている姿に感動しました。
30代	女性		4 極寒の収容所で生き抜く主人公や仲間たちの姿に胸を打たれた。中でも二宮和也演じる山本幡男が、過酷な環境の中でも人を信じ、仲間に希望を与え続ける姿が印象的だった。最後に家族へ手紙を託し、故郷を想いながら息を引き取るシーンは涙が止まらなかった。戦争や収容所生活の描写は辛いけれど、その中にある人間の優しさや絆が強く心に残った。
30代	女性		5 戦争がどんなに残酷なものか思い知らされました。どんなに絶望的な状況でも二宮さん演じる山本さんが希望を持って乗り越えようとしていた姿が印象的でした。
30代	女性		5 実話に基づく話だと知ってから見るとものすごく感慨深いです。実際にこんなにも残酷なことが行われていたのか、またこんなにも残酷なことがあっても希望を持ちながら生き続けようとしてきた方がいらっしやったということに驚きと感動を覚えました。ラストシーンの手紙を読んでいくシーンは嗚咽が止まりませんでした。
40代	女性		4 犬派の人には、有無を言わせずお勧めしたおい映画です。
20代	女性		3 『ラーゲリより愛をこめて』は、シベリア抑留の過酷な現実を描きつつ、希望と人間愛を浮き彫りにする感動的な作品。山本幡男の不屈の精神と家族への愛が胸を打ち、戦争の悲惨さと人の強さを深く考えさせられる。
20代	女性		4 どんな辛い時でも信念を貫き通す主人公の生き方が素敵で感動しました。
50代	女性		5 人間性は他人の素行をも変え、周りの人生に影響をもたらすものと思った。
40代	女性		4 自分にはとても耐えられない環境でとても切なかったです。最後仲間の絆が深まり、癌で亡くなる主人公の遺言を仲間が記憶して家族に伝える知恵はすごいと思いました。家族に伝えるシーンにもっと時間を使っても良いと思いました。
30代	女性		5 山本さんには子供が4人もおり、死ぬまで成長を見届けられず、山本さん、その家族は戦争の犠牲になってしまった。今私たちが平和に子供と過ごしてるのは国に命を捧げてきた人たちがいたからとも言えると思う。戦争は改めて残酷で、誰も幸せにならない、悲しいものだったと思った。
40代	男性		4 手紙のやり取りや仲間との絆が、あんな極限の世界でも人を支えていけるんだなって痛感したし、最後の展開は心を揺さぶられました。
30代	女性		5 二宮和也の演技が素晴らしかった。声が出ないところ、病院のシーンは圧倒された。山本そのものだった。松坂桃李の母宛の遺書のシーンは泣いた。 遺書のシーンはどこもよかった。 戦後も長い間抑留されていた人達がいたことを、この映画で知った。 ラストのミセスのSoranjimaで素晴らしかった。

40代	男性	5	とても感動して泣けました。
30代	女性	5	戦争の理不尽さや家族の絆など色々なことを考えさせられて涙なしでは観られませんでした。
40代	女性	5	テレビの放送で、先日初めてラーゲリより愛を込めてを鑑賞した。ラーゲリという場所は、映画を見るまで恥ずかしながらどこなのかも知らなかった。 戦争により離れ離れになった夫婦や家族が再会する感動的な話だと思って見始めたものの、予想よりも、はるかに衝撃的な内容にショックを受けた。戦後何年経っても捕虜として過酷な労働をしなくてはならず、何千人もの日本人がそのような過酷な環境にいて、すぐに帰国できなかったのはなぜなのか、本当に理解に苦しむ。すぐそこまで帰国できる列車に乗ったのに、言いがかりの罪をなすり付けられて、二度と帰れなくなる現実を突きつけられたときの絶望感と言ったら、本当に自分のことのように辛いという言葉だけでは表し切れない。なんとも言えない感情になった。こんなに地獄より辛く、死ぬにも死に切れない環境の中で日本に帰ると言う希望を捨てずに生きていた人たちがいるかと思うと、信じがたい事実だった。
20代	女性	5	本作は、遠く海を越えて互いを思い続ける家族の愛情だけでなく、山本の遺書を必死に家族へ届けようと奔走する仲間たちの強い絆が、非常に印象的でした。日本で夫の安否も分からぬまま、女手ひとつで子どもたちを育て上げた妻の心情や葛藤は、同じ女性として強く胸を打ちます。 作品を通して、現在の日本の平和は、このように過酷な状況を耐え抜き、支え合ってきた人々の上に築かれていることを、あらためて深く考えさせられました。単なる歴史物語ではなく、人の強さや優しさ、そして平和の尊さを静かに訴えかける物語でした。
20代	女性	5	主人公は後半で病気にかかり声が出なくなるのですが、そのときの二宮さんの演技がとても印象に残っています。 声が出なくなってもなんとか思いを伝えようとするところに魅力を感じました。 ストーリーはほぼ原作に忠実でした。原作からあまり変えてほしくないタイプの方でも安心して観られると思います。
30代	男性	5	山本の仲間思いの行動と信念に感動を得ることができました。二宮和也さんの活躍するシーンに期待して観ることができました。
20代	女性	3	辺見じゅん氏のノンフィクションを瀬々敬久監督のメガホンで映画化。 主要キャストとして、二宮和也、松坂桃李、中島健人、桐谷健太、安田顕、北川景子ら日本映画界を代表する面々がずらり勢揃い。史実を描いているだけに、そもそも説得力云々を言う次元の話ではない。 シベリア抑留って、日本史の授業を皮切りに何度となく聞いてきたワード。大変な経験をされ、命を落とした方が何万人もいるんだという事実を認識してこそいたものの、やはり本編を観るにつけ、あまりの残酷な抑留生活に言葉を失う。 ストーリーが進んでいくとともに、演出として「これでもか」と泣かせに来るのだが、そこに破綻がない。なぜなら、史実をもとにしているから。そして、俳優陣の芝居が芝居として際立っているのではなく、役どころに寄り添い続けたことで、それぞれの心情と同化することができたからではないか。
20代	女性	5	戦争の恐ろしさと、大切な人とそばにいれる現代のありがたさを知れました。
50代	女性	3	戦争がもたらす悲惨さと人間の苦しみを改めて考えさせられた。
60代	女性	4	戦争映画は基本的に好きではないのにこれは大好きです。人に話すだけで泣いてしまいます。二宮くん(演じる主人公)の遺書を妻子に伝えることが生きる意味、希望となって、彼らは日本に帰ることができたのだと気づいて感動しました。
20代	女性	4	戦争の大変さが良く分かる映画だった。
20代	女性	5	全員演技が上手で、この話が実話だと思うととても悲しくなりました。戦争は絶対にしてはいけないと思う作品でした。
30代	女性	4	想像を絶する過酷な環境の中でも、自分の正しいと思うことを貫き、最期まで人に対してやさしく接していた主人公の人柄にとっても感銘を受けました。
40代	女性	5	あんなに壮絶な思いをした先人がいて悲しみに暮れた家族が実際にいたと思うと胸が締め付けられる思いでした。 戦争は二度とおこしてはならない。 素晴らしい日本を取り戻せるよう微力ながら出来る事をしていきたいと思いました。 そして二宮君の演技が本当に素晴らしい！！
20代	女性	4	シベリア抑留という過酷な状況の中で、主人公・山本幡男と仲間たちが互いに支え合い、生き抜こうとする姿に心を打たれる映画です。家族への深い愛や仲間との絆が描かれ、涙と感動を誘います。過去の歴史を知り、命の尊さや人間の強さを考えさせられる作品です。
50代	女性	4	実際にあったことを元にしたシベリア拘留の話、過酷な中で生きるとは何かを考えられました。泣けます。
30代	女性	4	今までにない新鮮なストーリーで感動しました。また観たいです。
20代	男性	4	みんなが愛したくなる山本。 自分を大事にしつつも周りを見れるところがカッコいい。 戦争を見ると普通が一番だと感じる。
30代	女性	4	観終わった時、悲しさや切なさ、温かい気持ちなど、様々な感情がこみあげてきた。心に響く作品だった。
30代	女性	4	戦争の悲惨さや家族愛について考えさせられました。
30代	女性	5	遺書を記憶して家族のもとへ持ち帰るところは非常に感動しました。 役者さんがみんな素晴らしかったです。
30代	女性	5	二ノ宮さんの演技力もすごくて、実際にあった話というのが心にずっとく映画でした。 大体のフィクションの映画だと最後ハッピーエンドになりそうですが、ご家族に会えないまま終わってしまい苦しくなりました。 遺書がご家族に渡ったことは本当によかった、 この映画を通して小説も買って家で読むくらい興味を惹きつけられるものでした。
30代	女性	5	終戦後もあんなに大変で理不尽なことを強いられていた人々がいっぱいいたことを知らなかったので、びっくりしました。まだまだ知らない戦争に関する出来事を知って、子供たちにも伝えて未来に繋げていきたいと思いました。
20代	女性	5	実話であり、映画を観た後に主題歌の聴くとタイトルの意味がわかって感動する。
40代	男性	4	俳優の演技もよく、泣けた。
30代	男性	4	第二次世界大戦における日本の戦争についてはまだ知らないことがたくさんある一方で、何か壁のようなものがあり、なかなか知ることのできないものも多いように感じます。 その意味でこういった作品は大切だと思いました。
40代	女性	5	戦争という過酷な状況の中でも、人が人を思う気持ち、家族への愛、仲間との絆がとても丁寧に描かれていて、心に深く残りました。二宮和也さん演じる主人公が、ラーゲリという収容所で希望を失わずに生き抜こうとする姿に、母として、妻として、強く共感しました。最後

			に家族へ届く手紙のシーンは、我が子や夫の顔が浮かんでしまって、胸が締めつけられるようでした。日々の暮らしの中で忘れがちな生きる意味や、大切な人を思う気持ちを、改めて考えさせてくれる映画でした。観てよかったです。ありがとうございました。
30代	女性	3	敗戦後の日本兵の苦難を描いたストーリーというだけあって自己憐憫に溢れており、かつての加害国としての反省などはあまり感じられない残念な内容でした。 途中から登場した犬がラストまで無事にいられた所は良かった。
40代	女性	4	凄く面白くて感動しました
60代	男性	4	重厚なテーマながら心に響くストーリーで、人間同士の絆や希望、家族愛が丁寧に描かれている
40代	女性	5	ずっと涙が止まらなかった。何かあっても最後まで前向きに生きていた幡男と、仲間たちが幡男の思い家族に届けようと、遺書を暗記して家族に伝えた姿に涙なしでは見れない。
20代	女性	4	とても胸に響きました。目立ったドラマやキャラクターがいなくても泣いてしまうものなのですね。実際にあったことを体験できたかのように見れたのもよいです。戦争の悲惨さを学べる映画です。
40代	女性	5	主役の山本だけでなく、登場人物みんなが背負っているものが重くて、ノンフィクションだと思うと胸が苦しくなり、涙が止まりませんでした。シベリア抑留について知らない人に、ぜひ見てほしい映画だと思いました。
20代	女性	4	切ないけど絆を感じる物語で感動しました。
20代	女性	4	二宮和也の役作りが凄くて見入ってしまった。
30代	女性	4	過酷なシベリア抑留の実態と人間の強さを改めて感じました。主人公たちが極限の状況でも希望を捨てずに仲間を支え合う姿に心を打たれ、涙が止まりませんでした。特に、過酷な環境の中での絆や勇気が深く描かれていて、戦争の悲惨さだけでなく、人間の尊さを強く伝える作品だと思います。観る人に考えさせられる重みのある映画でした。
30代	男性	5	二宮和也の演技がすごく良かったです
40代	男性	4	二宮さんの演技力の高さに驚きました。その時代独特の趣を画面から感じられましたしセリフに熱が込められていてすごく感動しました。戦争終結後の殺伐とした雰囲気 genuinely リアルでした。
20代	女性	5	様々なことを考えさせられます。 山本の最後まで諦めない姿勢、真っ向からぶつかっていく姿勢。そんな山本を慕った人たち。 ずっと涙が止まりません。若い人に見てほしいです。
20代	男性	5	実話をもとにした映画とだけあって、信じられないような話だが妙にリアリティがあった。二ノの演技もよく、戦後の極寒の地シベリアで周りの情報などもわからずただもがいている感じが画面からひしひしと伝わってきて、息を飲み込む暇もなかった。
40代	男性	3	アクションはなかったが徐々に作品に引き込まれていったいい映画だった
20代	女性	5	素晴らしい作品でした。絆、愛、悲しみ等たくさんの要素が詰まった作品でした。私は2度見ました。元々戦争映画は大好きですが、戦争だけでなく家族の絆が描かれていて良かったです。
30代	女性	4	キャストが豪華で見応えがありました。
20代	女性	5	目立ったアクションもない。 ヒーロー劇でもない。 映像のクオリティが凄い訳でもない。 それでも涙が止まらなくなる。 実話に基づいたものだからこそ、これでいい。と思える作品でした。 戦争の傷跡や、裏側。 実際に1番苦しみ、犠牲になったのはしたくもない戦争に徴兵された一般兵だったのだろう。残された家族等の描写も含めて、深く考えさせられる作品でした。